



市制60周年記念事業

大和市街づくり賞のあゆみ

本市の魅力ある街づくりを表彰する大和市街づくり賞は、

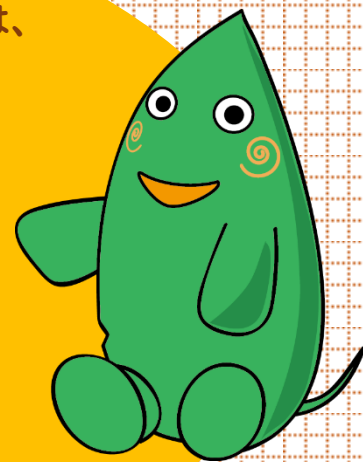
これまで20回という歴史を歩んできました。

長い時間を経て、今も変わらぬ姿の事例や、

更なる発展を遂げている事例もあります。

地図を片手に受賞事例を巡り、

やまとの魅力を再発見する街歩きに出かけてみませんか。



大和市役所 街づくり計画部

街づくり推進課 街づくり推進係

令和元年(2019年)12月 発行

※「大和市街づくり賞のあゆみ」では、事例関係者のご意向や現状等により、掲載しなかった受賞事例もございます。ご了承ください。

「大和市街づくり賞」とは

快適な街づくりを推進し、大和らしいまちを創造することを目的に、良好な街並みの創造に寄与している建築物やオープンスペース等の空間、ちょっとした工夫によりまちに彩りを与えている事例、地域の街づくりに貢献した個人や団体を表彰する制度です。

【賞の構成】

- ①街づくり事例部門：良好な街並みの形成に寄与した街づくりの事例を表彰するものです。（事例マップでは、赤色で位置を表示しています。）
- ②街づくり活動部門：住民等で組織され、街づくり活動に取り組み、良好な街づくりに寄与した活動を表彰するものです。（事例マップには掲載していませんが、末尾で、事例名と講評をご紹介します。）
- ③時 限 的 部 門：街づくりを取り巻く状況の変化や市民・事業者からの要望、その他快適な街づくりを推進するために新たな表彰部門を創設し、表彰するものです。（事例マップでは、緑色で位置を表示しています。）

選考の流れ

- 事例募集・・・自薦、他薦により、候補事例を募集します。
- 選考 ……大和市街づくり推進会議委員により、現地調査等に基づき選考を行います。
- 決定 ……大和市街づくり推進会議の選考に基づき、市長が受賞事例を決定します。
- 表彰式 ……市長より、表彰状や記念品等の授与を行います。表彰式では、選考を行う街づくり推進会議会長による講評や、受賞者のスピーチ、街づくり活動の発表会等を行うこともあります。

※大和市街づくり推進会議とは

街づくり、景観、屋外広告物に関する重要事項の調査審議を目的に設置された、市の附属機関です。学識経験者や街づくりの関係団体、公募市民により構成されます。

街づくり活動部門 受賞事例 ※平成30年度現在

回	事例名	受賞理由
3	光丘自治会・なかよし公園(山王塚公園)を育てる会	市が整備を予定している地域の公園の計画づくりに積極的に参加し、地域にふさわしい公園をつくりあげた。当初は、市の呼びかけから始まったワークショップも、回を重ねるごとに自主的な参加となり、緑を多く残す提案を初め、子供たちに人気の高いバスケットゴールの設置やあえてごみ箱を置かないなどの具体的な提案へとつながった。提案だけでなく、公園完成後の維持管理への参加も予定されるなど、今後の公共施設整備における計画段階から管理に至るまでの市民参加の先駆的な例となっている。
4	つきみ野6丁目7番地建築協定運営委員会	同協定地区内は、街区としてのまとまりが感じられ、緑豊かな住環境が守られている。同建築協定は、平成3年4月に締結されてから5年の有効期間が経過し、平成8年8月には更新が行われた。建築協定の更新について合意に至らないケースが数多いにも関わらず、協定を更新し、継続すること自体評価されて良いところであるが、当協定は、更新の際新たに「建物の外壁を北側の隣地境界線から1m以上とする。」という項目を付け加え内容の拡充を図っており、また、協定未合意の方にも情報を入れるなど努力をしてきた。
4	中央林間北自治会環境部会	中央林間駅前のパチンコ店の建設がきっかけとなって環境部会が発足したが、新旧住民が混在した地域の中で、これまでに多くの実績を残し、現在も活動が継続されている。住民が主体となったきめ細かいガイドラインづくりなど、継続的な勉強会に基づくルールづくりが行われている。
7	引地川かわくんだり実行委員会	平成2年より、ゴミ拾いや川歩き、遊びを通じて川と水の関係を考えるイベントとして、引地川の川下りが実践された。単なるイベントに終わることなく、活動は報告書としてまとめられ、長年にわたり、提言を続けている。
7	千本桜街づくり委員会	平成10年に「千本桜街づくり準備委員会」として結成され、まちの将来像として「千本桜地区街づくり構想」が策定された。その後「千本桜街づくり委員会」として発足し、構想実現に向けた街のルールづくりを目指し活動してきた。その熱心で活発な取り組みは、他の地区の街づくりの参考となるばかりか、既成市街地における地区計画への取り組み

		の先駆的事例となっている。
11	つるまの森保全協力会	10年の長きにわたり広葉樹の植樹など、つるまの森の育成の保安全管理の活動に取り組む。環境学習として子どもたちと世代を超えた交流や地域の人たちとの連携した実践は、街づくり活動の模範となっている。
11	"大和駅前、未来きれい大作戦くやまとプロムナード" 中学生ボランティアを中心とするまち緑化・美化活動"	プロムナードは様々なイベントにも活用される公共のオープンスペースである。この公共空間で、次代のまちを担う中学生ボランティアの手により魅力的なものに育てていく、潤いと人の暖かさを感じさせる街づくり活動をしている。この活動は、“地域の底力事業”の一環として、自治会、家庭地域家庭活性化会議など様々な団体と連携しながら行われ、底力事業の期間で終わることなく、継続的な活動として街づくりへと繋がっていくことが期待される。
14	内山の街づくりを考える会	自分たちの住む街をよくしていきたいという思いをきっかけに活動が進められている。内山地区の街づくりの課題を行政への要請だけに終わらせることなく、街の皆さんの自主的で継続的な活動となっている点が評価できる。まだ、プランやルールなど具体的な街づくりの成果が得られていないが、アンケートや頻繁な勉強会の開催などにより、住民の意向を反映し、内山の特徴を活かした街づくりが実現することを期待する。 ※現在、休会中。
17	南林間西南自治会クリーンキャンペーン	西南自治会は清掃のみならず、ゴミの放置などについても部会で対応するなど積極的に活動されている自治会だと伺っている。今回はクリーンキャンペーンに合わせ、地区内への周知として子供たちを巻き込んだ活動がとても素晴らしかった。地区内は全体的に清潔感があり、とても心地よい空間が広がっている。これは、当自治会が積極的に活動されている成果だと思う。
18	中央林間小学校通学専用通路「なかよし小道」	地域の多くの方々が協力し合い、子どもたちの安全のために作った道という点が素晴らしい。土地を提供した地権者の熱意に心を打たれた。人のつながりや住民参加の街づくりを感じられ、人の活動は高く評価できる。今後維持管理の中で植栽や安全性の確保に力を入れて活動を続けて欲しい。
18	つきみ野まちづくり委員会の活動	街の景観を維持するためには植栽柵の管理や沿道の清掃は必要不可欠であり、この活動が街に彩りを与える大切な要素となっている。風景として地域の個性や継続的な活動をうかがうことができ、街づくりを地域全体で進めているこ

		とが高く評価できる。委員会メンバーの次代の担い手を増やしていく工夫として、「チューリップ作戦」を上手く活用して欲しい。
20	もみのきデイサービス・放課後等デイサービス	印象的な外観が目を引き新しい建物であり、1階部分ではデイサービス、2階部分では放課後等デイサービスとなっている。また今後は、それぞれのサービスの交流も予定されている。街並みの中のインパクトある外観に加え、様々な世代の交流が活発に行われることが期待できる。建物外観もユニークで、特殊な土地形状を上手く利用している。利用者の交流発展やこのような取り組みが市内に増加することに期待する。
20	渋谷二丁目保存樹林への植栽活動	大和市指定の保存樹林敷地内において、街に彩りを加えたいと地主の承認を得て積極的に植栽等を行っている。豊かな景観づくりに一役を果たし防犯性の向上にも貢献している。地主の承認を得てボランティアで活動をする中で、「見せる」緑の彩りある豊かな景観が生まれている。市内に点在する保存樹林のあり方について、街づくりの視点からの新たな可能性を示すものである。

これまでの応募状況

表彰部門	総応募数	表彰数
街づくり事例部門	232	86
街づくり活動部門	49	24
時限的部門	169	33

【参考】第19回の開催について

第19回は、日本建築学会関東支部建築コンクールとの共同開催で、写真コンクール部門と絵画コンクール部門からなる例外的な開催でした。そのため、この回の受賞事例についてはご紹介していません。

市ホームページの街づくり賞のページではご覧いただけます。

大和市街づくり賞のページ：<http://www.city.yamato.lg.jp/web/t-seibi/m-syo.html>